

灯



私事だが、高校時代を東京で過ごしたため、九州に戻ってからはほとんど音信不通であった。先日、帰宅すると見慣れない差出人の手紙が届いていた。

封を開けてすぐに発信者が

高校時代の級友であることを思い出した。クラス会をするから遠いけど出てこないか、と言う内容で、級友の一人が事故で車

再会～40年の空白



草野 義輔

いすの生活となり最近、体調が思わしくない。その級友が君（私）のことを懐かしがっている、と書いてあった。その日は仕事上の予定も入っていたのだが、何とか都合をつけて上京した。

当日は懐かしいような気恥ずかしいような奇妙な気持ちで迎えるのマイクロバスに乗り

込んだ。とにかく四十年ぶりである。見渡してこの顔なら多分彼だろう、と予想はするものの、間違っただけはないとの思いもあって、しばらくは様子うかがいであった。

会場に到着すると奥さんに付き添われて車いすに乗ったO君がいた。彼は車いすでなくともすぐにわかった。彼の前でそれぞれが自己紹介をしたのであつたという間に皆の顔と名前が一致した。あとは四十年の壁が一気になくなり、会話が弾んだ。

心配したO君も想像以上に元気で、いくつもの病気を抱えているように見えなかった。二次会は駅前のカラオケボックスに入ったが四十年間の話は尽きず、歌を歌わない客も珍しかったと思う。再会を約して別れた。

(昭和学園高校理事長・日

田市)